

学修における生成 AI の利用について（学部・学科・研究科・専攻科共通）

2023 年 9 月 7 日（2025 年 7 月 16 日一部改正）

佐久大学

現在、社会では、ChatGPT、Perplexity AI、Copilot、Gemini などの生成 AI（以下、「生成 AI」）が広く活用されるようになっています。生成 AI の活用で、探求の質を高められるなどの学修面の利点があるかもしれませんが、使い方によっては知的財産権やプライバシー情報の侵害等、法的な問題につながる可能性があります。

佐久大学の学生の皆さんは、下記の留意事項を熟読し、適切に生成 AI を使用するようお願いします。

《利用上の留意事項》

1. 科目教員の指示を仰ぎそれに従う

▽科目の特性や教育上の理由から生成 AI の利用を制限することがあります。利用の可否について、科目教員に確認してください。なお、特定の指示が無かった場合でも、生成 AI で作成した課題やレポート等をそのまま提出することは認めません。

2. 学修成果物としての提出物（レポート等）に生成 AI を使用した文章や画像をそのまま利用しない

▽生成 AI を用いて出力されたものをそのまま、または一部改変して提出した際は、評価対象とならない場合があります。生成 AI の回答する内容に間違いが含まれることを理解し、真偽や適切性について、十分に吟味したうえで使用してください。他者の文章を無断で使用することは引用ではなく、剽窃（ひょうせつ）と判断される場合があります、レポート等の提出物に使用する場合は、参考資料としての利用にとどめてください。

3. 自分自身や他者（実習先の患者・利用者・クライアント・家族、友人や大学関係者等）の個人情報やプライバシー情報、研究結果等の未公表の情報等を入力しない

▽生成 AI に入力した情報がどのように扱われるかは完全には分かっていません。そのため、自分の意図とは別に、情報が流出する可能性があったり個人情報やプライバシー情報を流出させたりする危険性があるので注意しましょう。

4. 生成 AI とは何か（利点・欠点）を理解しながら、適切な利用を心がける

▽生成 AI は急速に発展している技術のため、活用方法や利用規約等が変更されることもあります。適切に利用するためにも継続的に情報収集をしましょう。

▽生成 AI の利用規約だけでなく、学修に用いられる記事やデータベース等の出典元の利用規約にも従う必要があります。教育目的であっても生成 AI への全文取り込みやテキストマイニング等が制限されている場合があります。

本件に関する問い合わせ：基盤教育センター